

# 12/1本番

## ICSAF2019 尚美学園大学パストラルホール

| 12/1(日) 第二日目 | パストラルホール コンサート2 (本番) |  |
|--------------|----------------------|--|
| 14:00~14:01  | 1                    | コンサート開始挨拶(開演前に、P1のライブのセッティングは済ませておく)   |
| 14:01-14:06  | 5                    | P1 西田騎タ(九州大学大学院)バイオメモリスタを用いたモジュラーシンセによるライブパフォーマンス。アロエベラを用いたバイオメモリスタをモジュールに用いることにより、新たな表現の可能性を開く。system700使用。                     |
| 14:06-14:08  | 2                    | 転換 インタビュー・舞台はける・アコースモニウム用ミキサー準備・プロジェクター投影準備  |
| 14:08-14:15  | 7                    | P2 今村海帆 (同志社女子大学) アコースモニウム演奏 <b>映像使用</b>   |
| 14:15-14:20  | 5                    | 転換 インタビュー・トランペット舞台セッティング、インターフェース+PCセット舞台出し  |
| 14:20-14:27  | 7                    | P3 村井佑美果 (名古屋学芸大学) トランペットで演奏された音をリアルタイムにサンプリングし、生演奏と組み合わせて即興的に作品を構築、5つのスピーカーから出力、出力先や音を生成するシステムの切り替えは、コンピュータプログラムによって行われる。       |
| 14:27-14:29  | 2                    | 転換 インタビュー・舞台はける・アコースモニウム用ミキサー準備  |
| 14:29-14:35  | 6                    | P4 高橋健人 (名古屋市立大学) -1Future bassとhip hopの融合作品。現代のポピュラーな連絡手段LINEや今を生きるユースカルチャーに電子音、EDMによく使われるvocal chopを組み合わせた新しい作品。アコースモニウム再生     |
| 14:35-14:39  | 4                    | 転換 インタビュー・舞台セッティング・プロジェクター投影準備   |
| 14:39-14:49  | 10                   | P5 JASMIM talk session-2 安藤先生とゲスト1名マイクインタビュー、 <b>映像使用</b>  |
| 14:49-14:54  | 5                    | 転換 舞台セッティング  |
| 14:54-14:58  | 4                    | P6 寺井まひろ (京都精華大学) テニスラケットのガット部分をギター弦に張り替え、ピックアップ、ピエゾ端子などの振動を音に変換させる装置を付ける。出力は、こちらでギターアンプを用意する。(PA無し) 演者は上記のシステムを利用し、パフォーマンスしていく。 |
| 14:58-15:03  | 5                    | 転換 インタビュー・プロジェクター投影準備  |
| 15:03-15:07  | 4                    | P7 中倉理志 (京都精華大学) 音楽をインストゥルメント毎にゲーム内で再生し、インストゥルメントの音をミュート、またミュート解除をする。プレイ画面をプロジェクターで映し、視覚的にも楽しんでもらいたい。 <b>映像使用</b>                |
| 15:07-15:12  | 5                    | 転換 インタビュー・舞台セッティング P8がキャンセルとなったことのアナウンス  |
| 15:12-15:16  | 4                    | P9 村尾尚哉(京都精華大学)掃除機に(加速度)センサーを取り付け、掃除する動きに反応して音(清潔さについてを問かける詩の朗読)が流れる。動き方によって音(テンポ)が変化し、詩の内容と動きが合わさって掃除機に感情があるかのようにパフォーマンスを行う。    |

|             |    |   |
|-------------|----|---|
| 15:16-15:20 | 4  | 転換 インタビュー・舞台セッティング・プロジェクター投影準備  |
| 15:20-15:30 | 10 | P10 JASMIM talk session-3 安藤先生とゲスト1名マイクインタビュー、映像使用  |
| 15:30-15:40 | 10 | 休憩、調整(10min) P11のセッティング   |
| 15:40-15:41 | 1  | 開始のアナウンス  |
| 15:41-15:48 | 7  | P11 中村文香 (名古屋学芸大学) ピアノとフルートとコンピュータによるサウンドパフォーマンス作品。タッチデザイナーを使用する。また、フルートにはMaxプログラミングを使用し、ディレイの音響効果を用いる。   |
| 15:48-15:49 | 1  | 転換 インタビュー・舞台はける・アコースモニウム用ミキサー準備   |
| 15:49-15:53 | 4  | R12 水島愛弥 (名古屋市立大学) 歌声合成ソフト「SynthesizerV」を用いてFuture bass × Hard coreの世界観を表現した作品。アコースモニウム演奏   |
| 15:53-15:58 | 5  | 転換 インタビュー・セッティング  |
| 15:58-16:08 | 10 | P13 坂田晶(昭和音楽大学大学院) 1台のハイランド・バッグパイプと電子音響によるライブ・パフォーマンス作品。バッグパイプによって演奏される旋律は、当楽器の古典的な音学ジャンルであるPiobaireachdの楽曲集分析から、あらかじめ自動で生成されている。パフォーマンスでは、バッグパイプの演奏と同時に、リアルタイムで生成されるバッグパイプ・シンセサイザーとのアンサンブルといくつかの音響処理によって構成される。 |
| 16:08-16:09 | 1  | 転換 インタビュー・舞台はける・アコースモニウム用ミキサー準備   |
| 16:09-16:15 | 6  | P14 久米乃瑠、坂口勝紀 (帝塚山学院大学) アコースモニウム演奏  |
| 16:15-16:20 | 5  | 転換 インタビュー・舞台セッティング・プロジェクター投影準備  |
| 16:20-16:25 | 5  | P15 横川十帆 (九州大学大学院) 生のイカを使ったライブパフォーマンス作品。イカに電極を取り付け、PCから流す音楽によってイカを刺激し、イカの体色を変化させる。イカの体色変化はデジタル顕微鏡を用いて撮影し、スクリーンに投影する。映像使用  |
| 16:25-16:26 | 1  | インタビュー  |
| 16:26-16:30 | 4  | 終演挨拶 スタッフ紹介 次回予告  |